

教員資格（教育職員免許状）

教員免許状の取得を希望する者は、「教育職員免許法」に基づき所定の単位を修得し、都道府県教育委員会に申請手続きを行うことで取得することができます。

また、公立学校の教員として勤務するためには、各都道府県等で実施する教員採用試験に合格し、採用候補者名簿に登載されなければなりません。私立学校の教員として勤務する場合には、各学校等が実施する採用試験に合格する必要があります。

1. 取得できる免許状の種類と免許教科

免許状の種類	免許教科・領域	取得資格条件	対象学部学科
幼稚園教諭 一種免許状		大学卒業・学士の学位を有すること	教育学部教育学科 初等教育専攻
小学校教諭 一種免許状		大学卒業・学士の学位を有すること	教育学部教育学科 初等教育専攻
中学校教諭 一種免許状	社 会	大学卒業・学士の学位を有すること	教育学部教育学科 中等教育専攻
中学校教諭 一種免許状	英 語	大学卒業・学士の学位を有すること	教育学部教育学科 中等教育専攻
高等学校教諭 一種免許状	地 理 歴 史	大学卒業・学士の学位を有すること	教育学部教育学科 中等教育専攻
高等学校教諭 一種免許状	公 民	大学卒業・学士の学位を有すること	教育学部教育学科 中等教育専攻
高等学校教諭 一種免許状	英 語	大学卒業・学士の学位を有すること	教育学部教育学科 中等教育専攻
特別支援学校教諭 一種免許状	聴覚障害者 知的障害者 肢体不自由者 病弱者	小学校の免許状を有すること	教育学部教育学科 初等教育専攻
		中学校・高等学校の免許状を有すること	教育学部教育学科 中等教育専攻

2. 教育実習

教育実習は取得する教員免許状及び資格の種類によって以下の通り行う必要があります。教育実習を行うためには、教育実習前提条件に設定されている科目を円滑に履修する必要があります。教育実習の登録手続きはUNIVERSAL PASSPORTでお知らせしますので、見落とし等のないよう注意してください。

○教育学部教育学科初等教育専攻（教育実習スケジュール）

*（ ）内は教育実習を行う学校種

コース名	取得する免許・資格	3年次	4年次
幼保コース	幼稚園		教育実習（幼稚園）
	保育士（定員100名）	保育実習Ⅰ・Ⅱ	
	保育士・幼稚園	保育実習Ⅰ・Ⅱ	教育実習（幼稚園）
小幼コース	小学校 ^{※2}		教育実習（小学校）
	小学校 ^{※1・2} ・幼稚園		教育実習（小学校）
	小学校 ^{※1} ・幼稚園・特別支援学校	教育実習（小学校）	特別支援教育実習
小特コース	小学校 ^{※2}		教育実習（小学校）
	小学校・特別支援学校	教育実習（小学校）	特別支援教育実習

○教育学部教育学科中等教育専攻（教育実習スケジュール）

*（ ）内は教育実習を行う学校種

コース名	取得する免許・資格	3年次	4年次
社会科コース	中学校（社会） ^{※2}		教育実習（中学校）
	高等学校（地歴・公民）		教育実習（高等学校）
	中学校（社会） ^{※2} ・ 高等学校（地歴・公民）		教育実習（中学校 または高等学校）
	中学校（社会）・高等学校（地歴・公民）・ 特別支援学校	教育実習（中学校 または高等学校）	特別支援教育実習
英語科コース	中学校（英語） ^{※2}		教育実習（中学校）
	高等学校（英語）		教育実習（高等学校）
	中学校（英語） ^{※2} ・ 高等学校（英語）		教育実習（中学校 または高等学校）
	中学校（英語）・高等学校（英語）・ 特別支援学校	教育実習（中学校 または高等学校）	特別支援教育実習

※1 小幼コースにおいて幼稚園・小学校の教員免許状を取得する場合、教育実習は小学校で実施することになります。

※2 小学校教諭免許状または中学校教諭免許状取得者は教育実習以外に「介護等の体験」を実施する必要があります。（次項参照）

特別支援学校教諭免許状を合わせて取得する場合は、特別支援教育実習を「介護等の体験」にみならず措置をとっておりますので、「介護等の体験」を行う必要はありません。

3. 「介護等の体験」について

『小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律』に基づき、小学校または中学校の教諭の免許状の授与を受けようとする者には、障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験（以下、「介護等の体験」という。）が求められます。

(1) 期 間

18歳に達した後の7日間	①特別支援学校	2日間
	②社会福祉施設	5日間

(2) 実施学校・施設

- ・ 特別支援学校
- ・ 文部科学大臣が厚生労働大臣と協議して定める受け入れ施設
- ・ 文部科学大臣が定める施設

(3) 「介護等の体験」に関する証明書について

- ・ 教育職員免許状申請時に「介護等の体験」に関する証明書の提出が必要となります。証明書は、介護等の体験者から請求があった場合、学校または施設の長から発行されます。

(4) 「介護等の体験」を要しない者

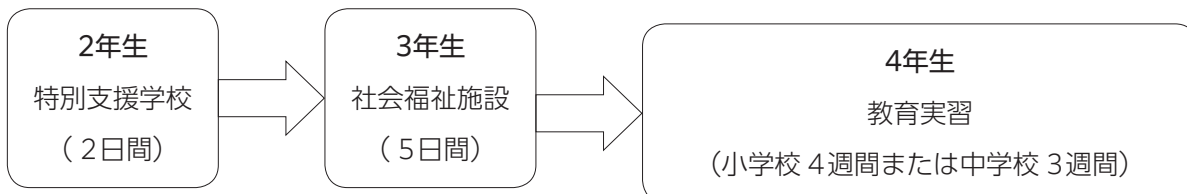
- ・ 保健師、助産師、看護師、准看護師、理学療法士、作業療法士、義肢装具士の免許を受けている者。
- ・ 社会福祉士、介護福祉士の資格を有する者。
- ・ 特別支援学校の教員の免許を受けている者。
- ・ 特別支援学校教諭一種免許状の取得を希望する学生で「特別支援教育実習」を終了した者は、当該学校長の証明を受けて、「介護等の体験」をおこなった者としてみなされます（「介護等の体験」は不要）。

(5) 必要経費は体験者（当該学生）の負担となります。※テキスト代が別途必要となります。

- ・ 特別支援学校（2日間） 無 料
- ・ 社会福祉施設（5日間） 10,800円

(6) 「介護等の体験」の流れ

「介護等の体験」は、2年生で特別支援学校、3年で社会福祉施設、4年生で教育実習という流れで行うことが望ましいです。



○ 「介護等の体験」スケジュール

実施時期		介護等の体験
教育実習前々年度	3月	「介護等の体験」ガイダンス（特別支援学校）（関係書類配付→記入→提出）
	4月	「介護等の体験」事前指導（特別支援学校2日間）
	5月	
	6～1月	
	2月	「介護等の体験」ガイダンス開催（社会福祉施設）
教育実習前年度	4月	「介護等の体験」事前指導（社会福祉施設5日間）
	5月	社会福祉施設体験費納入（前期実施者）
	6月	
	7～9月	
	10月	社会福祉施設体験費納入（後期実施者）
	2月	

※年度により日程等は変動することがあります。詳細はUNIVERSAL PASSPORTでお知らせします。

※特別支援学校で特別支援教育実習（4年）を行う場合、「介護等の体験」は免除されます。

4. 教育職員免許の取得方法【履修科目・教育実習】

(1) 幼稚園教諭一種免許状

幼稚園教諭は、幼児期の特性をふまえた教育を行います。幼児期における教育は、生涯にわたる人格形成を培う重要なものであり、幼児との信頼関係を十分に築き、幼児と共によりよい教育環境を創造するよう努めます。幼稚園教育実習は4年次に行います。

幼稚園教諭一種免許状に関する教育課程（初等教育専攻）

(別表20)

第一欄	教科及び教職に関する科目	左項の各科目に含めることが必要な事項	開講科目名	単位			
				必修	選択	履修年次	履修方法
第二欄	領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	子どもと健康	1		2年以上	必修11単位
			子どもと人間関係	1		2年以上	
			子どもと環境	1		2年以上	
			子どもと言葉	1		2年以上	
			子どもと表現（音楽）	1		2年以上	
			表現技術Ⅰ（音楽）	2		1年以上	
			表現技術Ⅱ（音楽）		2	2年以上	
			子どもと表現（美術）	1		2年以上	
			表現技術Ⅲ（美術）	1		2年以上	
			子どもと表現（運動あそび）	1		2年以上	
			表現技術Ⅳ（体育実技）	1		2年以上	
		保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	保育内容（健康）の理論と方法	1		2年以上	必修7単位
			保育内容（人間関係）の理論と方法	1		2年以上	
			保育内容（環境）の理論と方法	1		2年以上	
			保育内容（言葉）の理論と方法	1		2年以上	
			保育内容（表現・美術）の理論と方法	1		2年以上	
			保育内容（表現・音楽）の理論と方法	1		2年以上	
			保育内容（表現・運動あそび）の理論と方法	1		2年以上	
		第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学概論A	2	
教育史					4	2年以上	
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論A			2		1年以上	
	教育に関する社会的、制度的または経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育社会学概論A	2		2年以上
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学概論A			2		2年以上	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育の理解A			2		3年以上	
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	初等教育課程の意義と編成			2		2年以上	

	教科及び教職に関する科目	左項の各科目に含めることが必要な事項	開講科目名	単位			
				必修	選択	履修年次	履修方法
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論 (ICT活用を含む)	2		2年以上	必修4単位
		幼児理解の理論及び方法 教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法	幼児理解と教育相談	2		3年以上	
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習 (幼・小) の事前指導	1		2年以上	必修6単位
			教育実習 (幼・小) の事前事後指導	1		3年以上	
			教育実習 (幼・小)	4		3年以上	
		教職実践演習	2		4年	必修2単位	
第六欄	大学が独自に設定する科目	/	子どもの保健		2	1年以上	10単位以上 選択必修
			子ども家庭支援論		2	2年以上	
			乳幼児心理学		2	2年以上	
			音楽教育		2	3年以上	
			児童美術論		2	3年以上	
			英語活動の指導法		2	2年以上	
			教育社会学各論		2	2年以上	
			教育心理学各論		2	2年以上	
			教育実践活動Ⅰ		1	1年	
			教育実践活動Ⅱ		1	2年	
			教育実践活動Ⅲ		1	3年	
教育実践活動Ⅳ		1	4年				

教育職員免許法66条の6に定める科目							
	日本国憲法	日本国憲法	2		1年以上	必修 8単位	
	体育	スポーツB	2		1年以上		
	外国語コミュニケーション	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む)	2		1年以上		
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報処理実習	2		1年以上		

1) 教育実習へ向けての準備

幼稚園での教育実習は4年次に4週間行います。教育実習の登録手続きはUNIVERSAL PASSPORTでお知らせしますので、見落とし等のないよう十分注意してください。

教育実習までの流れ

時期		幼稚園教育実習に関する手続き・流れ
2年次	9月	教職課程履修費納入
	2月	幼稚園教育実習登録ガイダンス・実習希望調査票配付
3年次	4月	実習希望調査票の提出、実習依頼手続き
	10月	教育実習事前指導開始
	1月	実習報告会(4年生が行う報告会への参加)
4年次	4月	教育実習事前事後指導開始・実習関係書類の提出 実習の手引き・実習日誌等の配付・教育実習費納入
	5～9月	各自実習先へ事前訪問
	6～11月	教育実習(実習終了後：お礼状送付、レポート提出)
	12月	教員免許状一括申請に関する書類の作成・提出*1
	1月	実習報告会

*1 教育職員免許状の申請に関わる手続きです。

※年度により日程等は変動することがあります。詳細はUNIVERSAL PASSPORTでお知らせします。

2) 幼稚園教育実習履修の前提条件

以下に示す前提条件を実習年度の4月までに満たす必要があります。条件を満たさない場合、教育実習を行うことはできません。また、同一年度に複数の教育実習を履修することはできませんので注意してください。

	開講科目名	履修年次	履修前提条件	
領域に関する専門的事項	子どもと健康	2年以上	いずれか4科目以上単位修得済み	
	子どもと人間関係	2年以上		
	子どもと環境	2年以上		
	子どもと言葉	2年以上		
	子どもと表現（音楽）	2年以上		
	表現技術Ⅰ（音楽）	1年以上		
	表現技術Ⅱ（音楽）	2年以上		
	子どもと表現（美術）	2年以上		
	表現技術Ⅲ（美術）	2年以上		
	子どもと表現（運動あそび）	2年以上		
	表現技術Ⅳ（体育実技）	2年以上		
保育内容の指導法	保育内容（健康）の理論と方法	2年以上	いずれか4科目以上単位修得済み	
	保育内容（人間関係）の理論と方法	2年以上		
	保育内容（環境）の理論と方法	2年以上		
	保育内容（言葉）の理論と方法	2年以上		
	保育内容（表現・美術）の理論と方法	2年以上		
	保育内容（表現・音楽）の理論と方法	2年以上		
	保育内容（表現・運動あそび）の理論と方法	2年以上		
教育の基礎的理解に関する科目等	教育学概論A	1年以上	いずれか2科目以上単位修得済み	
	教職論A	1年以上		
	教育社会学概論A	2年以上		
	教育心理学概論A	2年以上		
	初等教育課程の意義と編成	2年以上	履修中	
	特別支援教育の理解A	3年以上		
	教育実習（幼・小）の事前指導	2年以上		単位修得済み
	教育実習（幼・小）の事前事後指導	3年以上		履修中
六六条の六	日本国憲法	1年以上	単位修得済み	
	スポーツB	1年以上		
	英語Ⅰ（コミュニケーションを含む）	1年以上		
	情報処理実習	1年以上		
その他	保育実習指導Ⅰ	2年以上	単位修得済み	
	保育実習指導Ⅱ	3年以上		

(2) 小学校教諭一種免許状

小学校教諭は、国語、算数、理科、社会、音楽、図工、体育の全教科と、道徳、特別活動の学習指導や生活指導を担当します。職務の種類・範囲が広いいため、幅広い知識が必要となります。

小学校教諭一種免許状に関する教育課程（初等教育専攻）

(別表21)

第一欄	教科及び教職に関する科目	左項の各科目に含めることが必要な事項	開講科目名	単位			
				必修	選択	履修年次	履修方法
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語科概論（書写を含む）	2		1年以上	必修10単位を含め12単位以上選択必修
			社会科概論	2		1年以上	
			算数概論	2		1年以上	
			理科概論	2		2年以上	
			生活科概論		2	2年以上	
			表現技術Ⅰ（音楽）		2	1年以上	
			表現技術Ⅱ（音楽）		2	2年以上	
			音楽教育		2	3年以上	
			表現技術Ⅲ（美術）		1	2年以上	
			児童美術論		2	3年以上	
			家庭科概論		2	2年以上	
			表現技術Ⅳ（体育実技）		1	2年以上	
			英語科概論	2		2年以上	
			国語科の指導法	2		2年以上	
	国語科教材研究		2	2年以上			
	社会科の指導法	2		2年以上			
	社会科教材研究		2	2年以上			
	算数科の指導法	2		2年以上			
	算数科教材研究		2	2年以上			
	理科の指導法	2		2年以上			
	理科教材研究（実験）		2	3年以上			
	生活科の指導法	2		2年以上			
	生活科教材研究		2	3年以上			
	音楽科の指導法	2		2年以上			
	図画工作科の指導法	2		2年以上			
	家庭科の指導法	2		2年以上			
	家庭科教材研究		2	3年以上			
体育科の指導法	2		2年以上				
体育科教材研究		2	3年以上				
英語科の指導法	2		2年以上				
英語科教材研究		2	3年以上				

	教科及び 教職に関 する科目	左項の各科目に含めることが 必要な事項	開講科目名	単位			
				必修	選択	履修年次	履修方法
第三欄	教育の基 礎的理解 に関する 科目	教育の理念並びに教育に関する歴史 及び思想	教育学概論 A	2		1年以上	必修12単位
			教育史		4	2年以上	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論 A	2		1年以上	
		教育に関する社会的、制度的または 経営的事項(学校と地域との連携及び 学校安全への対応を含む。)	教育社会学概論 A	2		2年以上	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達 及び学習の過程	教育心理学概論 A	2		2年以上	
		特別の支援を必要とする幼児、児童 及び生徒に対する理解	特別支援教育の理解 A	2		3年以上	
第四欄	道徳、総 合的な学 習の時間 等の指 導法及び 生徒指 導、教 育相談 等に関 する科 目	道徳の理論及び指導法	道徳の指導法 A	2		2年以上	必修12単位
			道徳の教材研究		2	2年以上	
		総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法 A	2		2年以上	
		特別活動の指導法	特別活動の指導法 A	2		2年以上	
		教育の方法及び技術	教育方法論 (ICT活用を含む)	2		2年以上	
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法					
		生徒指導の理論及び方法					
		進路指導及びキャリア教育の理論及び 方法	生徒指導・進路指導論 A	2		3年以上	
教育相談(カウンセリングに関する 基礎的な知識を含む。)の理論及び 方法	教育相談の理論と方法 A	2		3年以上			
第五欄	教育実践 に関する 科目	教育実習	教育実習(幼・小)の事前指導	1		2年以上	必修6単位
			教育実習(幼・小)の事前事後指導	1		3年以上	
			教育実習(幼・小)	4		3年以上	
		教職実践演習	教職実践演習(幼・小)	2		4年	必修2単位
第六欄	大学が独 自に設 定する 科目	/	教育社会学各論		2	2年以上	4単位以上 選択必修
			教育心理学各論		2	2年以上	
			情報メディアの活用		2	3年以上	
			教育デジタルコンテンツ作成論		2	2年以上	
			教育実践活動Ⅰ		1	1年	
			教育実践活動Ⅱ		1	2年	
			教育実践活動Ⅲ		1	3年	
			教育実践活動Ⅳ		1	4年	

教育職員免許法66条の6に定める科目						
日本国憲法	日本国憲法	2		1年以上	必修8単位	
体育	スポーツB	2		1年以上		
外国語コミュニケーション	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む)	2		1年以上		
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報処理実習	2		1年以上		

1) 教育実習へ向けての準備

小学校の教育実習は、3年次または4年次に4週間行います。小学校の教育実習は、出身校または卒業生以外でも受け入れている学校にて行います。実習校における実習生の受入れの実態は大変厳しいものになってきています。卒業生であっても受入れを制限する学校や、教員採用試験の受験を条件とする学校もあります。そのため、実習の前々年度1月に実習希望校調査（第1回登録）を行い、前年度に実習校から内諾を得ることになります。実習登録は第1回と第2回の全2回あり、各回の登録を完了しないと、実習へ行くことができなくなりますので、ご注意ください。

ガイダンス等の学生に対する連絡はUNIVERSAL PASSPORTにてお知らせします。見落とし等のないよう十分注意してください。

教育実習までの流れ

時期		小学校教育実習に関する手続き・流れ
1年次	12月	教員免許状取得希望調査
	1月	教育実習第1回登録(ガイダンス：実習希望校の選定等)
2年次*1	4月	教育実習第2回登録(ガイダンス：実習希望校の確定・実習依頼等)
	5～9月	実習希望校訪問(該当者のみ)
	9月	教育実習事前指導開始(実習登録書の提出)
		実習の手引きの配付、教職課程履修費・教育実習登録金納入
12～1月	実習関係書類(誓約書等)の作成・提出	
3年次*1	4月	教育実習事前事後指導開始
		実習日誌等の配付、教育実習費納入
	5～12月	教育実習(実習終了後：お礼状送付、レポート提出)
4年次	12月	教員免許状一括申請に関する書類の作成・提出*2

*1 特別支援学校教諭免許状を取得しない方は、1年先(3・4年次)の手続きとなります(教職課程履修費納入を除く)。また、「介護等の体験」も実施が必要です。

*2 教育職員免許状の申請に関わる手続きです。

※年度により日程は変動することがあります。詳細はUNIVERSAL PASSPORTでお知らせします。

2) 小学校教育実習履修の前提条件

以下に示す前提条件を実習年度の4月までに満たす必要があります。条件を満たさない場合、教育実習を行うことはできません。また、同一年度に複数の教育実習を履修することはできませんので注意してください。

	開講科目名	履修年次	履修前提条件
教 育 に 関 す る 専 門 的 事 項	国語科概論（書写を含む）	1年以上	いずれか 2科目以上単位修得済み
	社会科概論	1年以上	
	算数概論	1年以上	
	理科概論	2年以上	
基 礎 的 理 解 に 関 す る 科 目 等	特別支援教育の理解 A	3年以上	履修中
	教職論 A	1年以上	いずれか 2科目以上単位修得済み
	教育学概論 A	1年以上	
	教育心理学概論 A	2年以上	
	教育社会学概論 A	2年以上	
	初等教育課程の意義と編成	2年以上	いずれか 4科目以上単位修得済み
	国語科の指導法	2年以上	
	社会科の指導法	2年以上	
	算数科の指導法	2年以上	
	理科の指導法	2年以上	
	生活科の指導法	2年以上	
	音楽科の指導法	2年以上	
	図画工作科の指導法	2年以上	
	家庭科の指導法	2年以上	
	体育科の指導法	2年以上	
	英語科の指導法	2年以上	
	道徳の指導法 A	2年以上	
	総合的な学習の時間の指導法 A	2年以上	
	特別活動の指導法 A	2年以上	
	教育方法論（ICT活用を含む）	2年以上	
	生徒指導・進路指導論 A	3年以上	履修中
	教育相談の理論と方法 A	3年以上	履修中
	教育実習（幼・小）の事前指導	2年以上	単位修得済み
教育実習（幼・小）の事前事後指導	3年以上	履修中	
六 六 条 の 六	日本国憲法	1年以上	単位修得済み
	スポーツ B	1年以上	
	英語 I（コミュニケーションを含む）	1年以上	
	情報処理実習	1年以上	

(3) 中学校教諭一種免許状（社会）

中学校教諭は、中学校において生徒の学習面と生活面の指導をします。子どもから大人へと成長する思春期の子どもたちを担う重要な職務であり、指導力だけでなく体力も必要となってきます。

中学校教諭一種免許状（社会）に関する教育課程（中等教育専攻）

（別表22）

第一欄	教科及び教職に関する科目	左項の各科目に含めることが必要な事項	開講科目名	単位				
				必修	選択	履修年次	履修方法	
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史・外国史	日本史概説	4		1年以上	必修を含め36単位以上選択必修
				日本文化史		4	2年以上	
				日本美術史		2	3年以上	
				古文書概論		2	2年以上	
				東洋史概説	2		2年以上	
				西洋史概説	2		2年以上	
				西洋美術史		2	3年以上	
			地理学（地誌を含む。）	人文地理学	4		2年以上	
				自然地理学	4		2年以上	
				地誌	4		2年以上	
			「法学、政治学」	○法学概論（国際法を含む）		2	2年以上	○印●印の科目のうちいずれか必修(●はⅠ・Ⅱ必修)
				●政治学原論（国際政治を含む）Ⅰ		2	2年以上	
				●政治学原論（国際政治を含む）Ⅱ		2	2年以上	
			「社会学、経済学」	△社会学原論Ⅰ		2	2年以上	△印▲印の科目のうちいずれか必修(△及び▲はⅠ・Ⅱ必修)
				△社会学原論Ⅱ		2	2年以上	
				▲経済原論（国際経済を含む）Ⅰ		2	2年以上	
				▲経済原論（国際経済を含む）Ⅱ		2	2年以上	
			「哲学、倫理学、宗教学」	◎倫理学概論		4	2年以上	◎印の科目のうちいずれか1科目必修
				◎宗教学概論		2	2年以上	
				仏教学概論		4	2年以上	
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	社会科の指導法Ⅰ（地理歴史）		4	2年以上	必修12単位			
	社会科の指導法Ⅱ（公民）		4	2年以上				
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学概論B	2			1年以上	
			教育史			4	2年以上	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論B	2			1年以上	
			教育に関する社会的、制度的または経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育社会学概論B		2		2年以上
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学概論B	2			2年以上	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育の理解B	2			3年以上	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	中等教育課程の意義と編成	2			2年以上	

	教科及び教職に関する科目	左項の各科目に含めることが必要な事項	開講科目名	単位			
				必修	選択	履修年次	履修方法
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳の指導法B	2		2年以上	必修12単位
			道徳の教材研究		2	2年以上	
		総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法B	2		2年以上	
		特別活動の指導法	特別活動の指導法B	2		2年以上	
		教育の方法及び技術	教育方法論（ICT活用を含む）	2		2年以上	
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法					
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導論B	2		3年以上	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の理論と方法B	2		3年以上			
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習（中・高）の事前指導	1		2年以上	必修6単位
			教育実習（中・高）の事前事後指導	1		3年以上	
			教育実習（中・高）	4		3年以上	
		教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2		4年	必修2単位
第六欄	大学が独自に設定する科目	/	生涯学習概論Ⅰ※		2	1年以上	6単位以上 選択必修 ※Ⅱの履修はⅠの履修を前提とする
			生涯学習概論Ⅱ※		2	1年以上	
			教育社会学各論		2	2年以上	
			教育心理学各論		2	2年以上	
			地域研究法（調査を含む）		2	3年以上	
			博物館概論		2	2年以上	
			文化財概論		2	2年以上	
			情報メディアの活用		2	3年以上	
			教育デジタルコンテンツ作成論		2	2年以上	
			教育実践活動Ⅰ		1	1年	
			教育実践活動Ⅱ		1	2年	
			教育実践活動Ⅲ		1	3年	
			教育実践活動Ⅳ		1	4年	

※網掛けの科目は、一般的包括的内容を含む科目。

教育職員免許法66条の6に定める科目						
日本国憲法	日本国憲法	2		1年以上	必修8単位	
体育	スポーツA	2		1年以上		
外国語コミュニケーション	英語Ⅰ（コミュニケーションを含む）	2		1年以上		
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報処理実習	2		1年以上		

(4) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）

高等学校教諭は、高等学校で生徒の学習面と生活面の指導をします。地理・歴史についての豊富な専門知識に加え、公平で適切なアドバイスのできる人材が求められます。

高等学校教諭一種免許状（地理歴史）に関する教育課程（中等教育専攻）

（別表23）

第一欄	教科及び教職に関する科目	左項の各科目に含めることが必要な事項	開講科目名	単位				
				必修	選択	履修年次	履修方法	
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史	日本史概説	4		1年以上	必修を含め32単位以上選択必修
				日本文化史		4	2年以上	
				日本美術史		2	3年以上	
				古文書概論		2	2年以上	
			外国史	東洋史概説	2		2年以上	
				西洋史概説	2		2年以上	
		西洋美術史			2	3年以上		
		人文地理学・自然地理学	人文地理学	4		2年以上		
			自然地理学	4		2年以上		
		地誌	地誌	4		2年以上		
		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	社会科の指導法Ⅰ（地理歴史）	4		2年以上		
			地理歴史科指導法	4		2年以上		
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学概論B	2		1年以上	必修12単位	
			教育史		4	2年以上		
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論B	2		1年以上		
		教育に関する社会的、制度的または経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育社会学概論B	2		2年以上		
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学概論B	2		2年以上		
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育の理解B	2		3年以上		
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	中等教育課程の意義と編成	2		2年以上		

	教科及び教職に関する科目	左項の各科目に含めることが必要な事項	開講科目名	単位			
				必修	選択	履修年次	履修方法
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法B	2		2年以上	必修10単位
		特別活動の指導法	特別活動の指導法B	2		2年以上	
		教育の方法及び技術	教育方法論（ICT活用を含む）	2		2年以上	
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法					
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導論B	2		3年以上	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法					
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習（中・高）の事前指導	1		2年以上	必修6単位
			教育実習（中・高）の事前事後指導	1		3年以上	
			教育実習（中・高）	4		3年以上	
		教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2		4年	必修2単位
第六欄	大学が独自に設定する科目		生涯学習概論Ⅰ※		2	1年以上	6単位以上 選択必修 ※Ⅱの履修はⅠの履修を前提とする
			生涯学習概論Ⅱ※		2	1年以上	
			教育社会学各論		2	2年以上	
			教育心理学各論		2	2年以上	
			地域研究法（調査を含む）		2	3年以上	
			博物館概論		2	2年以上	
			文化財概論		2	2年以上	
			情報メディアの活用		2	3年以上	
			教育デジタルコンテンツ作成論		2	2年以上	
			教育実践活動Ⅰ		1	1年	
			教育実践活動Ⅱ		1	2年	
			教育実践活動Ⅲ		1	3年	
			教育実践活動Ⅳ		1	4年	

※網掛けの科目は、一般的包括的内容を含む科目。

教育職員免許法66条の6に定める科目						
日本国憲法	日本国憲法	2		1年以上	必修8単位	
体育	スポーツA	2		1年以上		
外国語コミュニケーション	英語Ⅰ（コミュニケーションを含む）	2		1年以上		
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報処理実習	2		1年以上		

(5) 高等学校教諭一種免許状（公民）

高等学校教諭は、高等学校で生徒の学習面と生活面の指導をします。公民についての豊富な専門知識に加え、公平で適切なアドバイスのできる人材が求められます。

高等学校教諭一種免許状（公民）に関する教育課程（中等教育専攻）

（別表24）

第一欄	教科及び教職に関する科目	左項の各科目に含めることが必要な事項		開講科目名	単位			
					必修	選択	履修年次	履修方法
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	○法学概論（国際法を含む）		2	2年以上	28単位以上選択必修 ○印●印の科目のうちいずれか必修（●はⅠ・Ⅱ必修） △印▲印の科目のうちいずれか必修（△及び▲はⅠ・Ⅱ必修） ◎印の科目からいずれか1科目必修
				●政治学原論（国際政治を含む）Ⅰ		2	2年以上	
				●政治学原論（国際政治を含む）Ⅱ		2	2年以上	
			「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	△社会学原論Ⅰ		2	2年以上	
				△社会学原論Ⅱ		2	2年以上	
				社会学と社会システム		2	1年以上	
				▲経済原論（国際経済を含む）Ⅰ		2	2年以上	
			「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	◎倫理学概論		4	2年以上	
				◎宗教学概論		2	2年以上	
				仏教学概論		4	2年以上	
		◎心理学概論			2	1年以上		
		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	社会科の指導法Ⅱ（公民）		4	2年以上		
			公民科指導法		4	2年以上		
		第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学概論B		2	1年以上
教育史					4	2年以上		
教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論B				2	1年以上		
教育に関する社会的、制度的または経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育社会学概論B				2	2年以上		
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学概論B				2	2年以上		
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育の理解B				2	3年以上		
教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	中等教育課程の意義と編成		2	2年以上				

	教科及び教職に関する科目	左項の各科目に含めることが必要な事項	開講科目名	単位			
				必修	選択	履修年次	履修方法
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法B	2		2年以上	必修10単位
		特別活動の指導法	特別活動の指導法B	2		2年以上	
		教育の方法及び技術	教育方法論（ICT活用を含む）	2		2年以上	
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法					
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導論B	2		3年以上	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法					
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習（中・高）の事前指導	1		2年以上	必修6単位
			教育実習（中・高）の事前事後指導	1		3年以上	
			教育実習（中・高）	4		3年以上	
		教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2		4年	必修2単位
第六欄	大学が独自に設定する科目		生涯学習概論Ⅰ※		2	1年以上	6単位以上 選択必修 ※Ⅱの履修はⅠの履修を前提とする
			生涯学習概論Ⅱ※		2	1年以上	
			教育社会学各論		2	2年以上	
			教育心理学各論		2	2年以上	
			地域研究法（調査を含む）		2	3年以上	
			博物館概論		2	2年以上	
			文化財概論		2	2年以上	
			情報メディアの活用		2	3年以上	
			教育デジタルコンテンツ作成論		2	2年以上	
			教育実践活動Ⅰ		1	1年	
			教育実践活動Ⅱ		1	2年	
			教育実践活動Ⅲ		1	3年	
			教育実践活動Ⅳ		1	4年	

※網掛けの科目は、一般的包括的内容を含む科目。

教育職員免許法66条の6に定める科目							
日本国憲法	日本国憲法	2		1年以上	必修8単位		
体育	スポーツA	2		1年以上			
外国語コミュニケーション	英語Ⅰ（コミュニケーションを含む）	2		1年以上			
教理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報処理実習	2		1年以上			

(6) 中学校教諭一種免許状（英語）

中学校教諭は、中学校において生徒の学習面と生活面の指導をします。子どもから大人へと成長する思春期の子どもたちを担う重要な職務であり、指導力だけではなく体力も必要となってきます。

中学校教諭一種免許状（英語）に関する教育課程（中等教育専攻）

（別表25）

第一欄	教科及び教職に関する科目	左項の各科目に含めることが必要な事項	開講科目名	単位					
				必修	選択	履修年次	履修方法		
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学	英語学概論	2		1年以上	必修を含め37単位以上選択必修 いずれか1科目以上必修	
				教育英語学	2		2年以上		
				英語音声学		2	2年以上		
				英語統語論		2	2年以上		
				心理言語学		2	3年以上		
				日英比較言語学		2	3年以上		
			英語文学	英語文学Ⅰ	2		1年以上		いずれか1科目以上必修
				英語文学Ⅱ	2		2年以上		
				英語文学講読Ⅰ		2	2年以上		
				英語文学・文化Ⅰ		2	2年以上		
				英語文学講読Ⅱ		2	3年以上		
				英語文学・文化Ⅱ		2	3年以上		
			英語コミュニケーション	Academic Reading	2		1年以上		
				Academic Writing	2		2年以上		
				Presentation Skills	2		3年以上		
				Speaking&Listening Skills	2		2年以上		
				English ProjectⅠ		2	2年以上		
				English ProjectⅡ		2	3年以上		
				English ProjectⅢ		2	4年		
			異文化理解	異文化理解Ⅰ	2		1年以上		
				異文化理解Ⅱ	2		2年以上		
				語学・文化海外研修	3		2年以上		
			各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	英語科教育法（概論）	2		1年以上		
				英語科教育法（指導法）	2		2年以上		
				英語科教育法（実践A）	2		2年以上		
				英語科教育法（実践B）	2		3年以上		
				第二言語習得論	2		3年以上		
児童英語教育		2		2年以上					
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学概論B	2		1年以上	必修12単位		
			教育史		4	2年以上			
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論B	2		1年以上			
		教育に関する社会的、制度的または経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育社会学概論B	2		2年以上			
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学概論B	2		2年以上			
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育の理解B	2		3年以上			
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	中等教育課程の意義と編成	2		2年以上			

	教科及び教職に関する科目	左項の各科目に含めることが必要な事項	開講科目名	単位			
				必修	選択	履修年次	履修方法
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳の指導法 B	2		2年以上	必修12単位
			道徳の教材研究		2	2年以上	
		総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法 B	2		2年以上	
		特別活動の指導法	特別活動の指導法 B	2		2年以上	
		教育の方法及び技術	教育方法論（ICT活用を含む）	2		2年以上	
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法					
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導論 B	2		3年以上	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	教育相談の理論と方法 B	2		3年以上	
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習（中・高）の事前指導	1		2年以上	必修6単位
			教育実習（中・高）の事前事後指導	1		3年以上	
			教育実習（中・高）	4		3年以上	
		教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2		4年	必修2単位
第六欄			生涯学習概論Ⅰ※		2	1年以上	4単位以上 選択必修 ※Ⅱの履修はⅠの履修を前提とする
			生涯学習概論Ⅱ※		2	1年以上	
			教育社会学各論		2	2年以上	
			教育心理学各論		2	2年以上	
			情報メディアの活用		2	3年以上	
			教育デジタルコンテンツ作成論		2	2年以上	
			教育実践活動Ⅰ		1	1年	
			教育実践活動Ⅱ		1	2年	
			教育実践活動Ⅲ		1	3年	
			教育実践活動Ⅳ		1	4年	

教育職員免許法66条の6に定める科目							
	日本国憲法	日本国憲法	2		1年以上	必修8単位	
	体育	スポーツA	2		1年以上		
	外国語コミュニケーション	英語Ⅰ（コミュニケーションを含む）	2		1年以上		
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報処理実習	2		1年以上		

(7) 高等学校教諭一種免許状（英語）

高等学校教諭は、高等学校で生徒の学習面と生活面の指導をします。英語についての豊富な専門知識に加え、公平で適切なアドバイスのできる人材が求められます。

高等学校教諭一種免許状（英語）に関する教育課程（中等教育専攻）

（別表26）

第一欄	教科及び教職に関する科目	左項の各科目に含めることが必要な事項	開講科目名	単位					
				必修	選択	履修年次	履修方法		
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学	英語学概論	2		1年以上	必修を含め37単位以上選択必修 いずれか1科目以上必修	
				教育英語学	2		2年以上		
				英語音声学		2	2年以上		
				英語統語論		2	2年以上		
				心理言語学		2	3年以上		
				日英比較言語学		2	3年以上		
			英語文学	英語文学Ⅰ	2		1年以上		いずれか1科目以上必修
				英語文学Ⅱ	2		2年以上		
				英語文学講読Ⅰ		2	2年以上		
				英語文学・文化Ⅰ		2	2年以上		
				英語文学講読Ⅱ		2	3年以上		
				英語文学・文化Ⅱ		2	3年以上		
			英語コミュニケーション	Academic Reading	2		1年以上		
				Academic Writing	2		2年以上		
				Presentation Skills	2		3年以上		
				Speaking&Listening Skills	2		2年以上		
				English ProjectⅠ		2	2年以上		
				English ProjectⅡ		2	3年以上		
		English ProjectⅢ			2	4年			
		異文化理解	異文化理解Ⅰ	2		1年以上			
			異文化理解Ⅱ	2		2年以上			
			語学・文化海外研修	3		2年以上			
		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	英語科教育法（概論）	2		1年以上			
			英語科教育法（指導法）	2		2年以上			
			英語科教育法（実践A）	2		2年以上			
			英語科教育法（実践B）	2		3年以上			
			第二言語習得論	2		3年以上			
児童英語教育			2	2年以上					
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学概論B	2		1年以上	必修12単位		
			教育史		4	2年以上			
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論B	2		1年以上			
		教育に関する社会的、制度的または経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育社会学概論B	2		2年以上			
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学概論B	2		2年以上			
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育の理解B	2		3年以上			
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	中等教育課程の意義と編成	2		2年以上			

	教科及び 教職に関 する科目	左項の各科目に含めることが 必要な事項	開講科目名	単位			
				必修	選択	履修年次	履修方法
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法B	2		2年以上	必修10単位
		特別活動の指導法	特別活動の指導法B	2		2年以上	
		教育の方法及び技術	教育方法論（ICT活用を含む）	2		2年以上	
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法					
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導論B	2		3年以上	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の理論と方法B	2		3年以上			
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習（中・高）の事前指導	1		2年以上	必修6単位
			教育実習（中・高）の事前事後指導	1		3年以上	
			教育実習（中・高）	4		3年以上	
		教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2		4年	必修2単位
第六欄	大学が独自に設定する科目	/	生涯学習概論Ⅰ※		2	1年以上	4単位以上 選択必修 ※Ⅱの履修はⅠの履修を前提とする
			生涯学習概論Ⅱ※		2	1年以上	
			教育社会学各論		2	2年以上	
			教育心理学各論		2	2年以上	
			情報メディアの活用		2	3年以上	
			教育デジタルコンテンツ作成論		2	2年以上	
			教育実践活動Ⅰ		1	1年	
			教育実践活動Ⅱ		1	2年	
			教育実践活動Ⅲ		1	3年	
			教育実践活動Ⅳ		1	4年	

教育職員免許法66条の6に定める科目						
日本国憲法	日本国憲法	2		1年以上	必修8単位	
体育	スポーツA	2		1年以上		
外国語コミュニケーション	英語Ⅰ（コミュニケーションを含む）	2		1年以上		
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報処理実習	2		1年以上		

1) 教育実習へ向けての準備

中学校又は高等学校の教育実習は3年次または4年次に3週間行います。教育実習生は実習中に教育活動の全領域に参加し、実習校の校長および指導教諭の指導のもと、実習生自ら直接教育活動を行うこととなります。

ただし、中学校・高等学校には教育実習生を引き受けなければならないという法的根拠および義務はなく、将来学校教育を担う後輩の育成という善意で受け入れていただいているのですから、教育実習を希望する学生には十分な事前準備が求められます。

中学校・高等学校の教育実習は、出身校または卒業生以外でも受け入れている学校にて行います。実習校における実習生の受入れの実態は大変厳しいものになってきています。卒業生であっても受入れを制限する学校や、教員採用試験の受験を条件とする学校もあります。そのため、実習の前々年度1月に実習希望校調査（第1回登録）を行い、前年度に実習校から内諾を得ることとなります。実習登録は第1回と第2回の全2回あり、各回の登録を完了しないと、実習を行うことができなくなりますので、ご注意ください。

ガイダンス等の学生に対する連絡はUNIVERSAL PASSPORTにてお知らせします。見落とし等のないよう十分注意してください。

教育実習までの流れ

時期		教育実習（中・高）に関する手続き・流れ
1年次	12月	教員免許状取得希望調査
	1月	教育実習第1回登録(ガイダンス：実習希望校の選定等)
2年次 ^{*1}	4月	教育実習第2回登録(ガイダンス：実習希望校の確定・実習依頼等)
	5～9月	実習希望校訪問(該当者のみ)
	9月	教育実習事前指導開始(実習登録書の提出) 教育実習の手引き配付、教職課程履修費・教育実習登録金納入
	12～1月	実習関係書類(誓約書等)の作成・提出
3年次 ^{*1}	4月	教育実習事前事後指導開始 実習日誌等の配付、教育実習費納入
	5～12月	教育実習(実習終了後：お礼状送付、レポート提出)
4年次	12月	教員免許状一括申請に関する書類の作成・提出 ^{*2}

*1 特別支援学校教諭免許状を取得しない方は、1年先（3・4年次）の手続きとなります（教職課程履修費納入を除く）。また、「介護等の体験」も実施が必要です。

*2 教育職員免許状の申請に関わる手続きです。

※年度により日程は変動することがあります。詳細はUNIVERSAL PASSPORTでお知らせします。

2) 教育実習履修の前提条件

以下に示す前提条件を実習年度の4月までに満たす必要があります。条件を満たさない場合、教育実習を行うことはできません。また、同一年度に複数の教育実習を履修することはできませんので注意してください。

中学校（社会）

	開講科目名	履修年次	履修前提条件	
教科に関する専門的事項	日本史概説	1年以上	いずれか1科目以上単位修得済み	
	東洋史概説	2年以上		
	西洋史概説	2年以上		
	人文地理学	2年以上	いずれか1科目以上単位修得済み	
	自然地理学	2年以上		
	地誌	2年以上		
	法学概論（国際法を含む）	2年以上	いずれか3科目以上単位修得済み	
	政治学原論（国際政治を含む）Ⅰ	2年以上		
	政治学原論（国際政治を含む）Ⅱ	2年以上		
	社会学原論Ⅰ	2年以上		
	社会学原論Ⅱ	2年以上		
	経済原論（国際経済を含む）Ⅰ	2年以上		
	経済原論（国際経済を含む）Ⅱ	2年以上		
	倫理学概論	2年以上		
	宗教学概論	2年以上		
基礎的理解に関する科目等	特別支援教育の理解B	3年以上	履修中	
	教職論B	1年以上	単位修得済み	
	教育学概論B	1年以上		
	教育心理学概論B	2年以上	いずれか1科目以上単位修得済み	
	教育社会学概論B	2年以上		
	中等教育課程の意義と編成	2年以上	いずれか2科目以上単位修得済み	
	社会科の指導法Ⅰ（地理歴史）	2年以上		
	社会科の指導法Ⅱ（公民）	2年以上		
	道徳の指導法B	2年以上		
	総合的な学習の時間の指導法B	2年以上		
	特別活動の指導法B	2年以上		
	教育方法論（ICT活用を含む）	2年以上		
	教育実習（中・高）の事前指導	2年以上		単位修得済み
	教育実習（中・高）の事前事後指導	3年以上		履修中
	六六条の六	日本国憲法	1年以上	単位修得済み
スポーツA		1年以上		
英語Ⅰ（コミュニケーションを含む）		1年以上		
情報処理実習		1年以上		

高等学校（地理歴史）

	開講科目名	履修年次	履修前提条件
教科に関する専門的事項	日本史概説	1年以上	いずれか1科目以上単位修得済み
	東洋史概説	2年以上	
	西洋史概説	2年以上	
	人文地理学	2年以上	いずれか1科目以上単位修得済み
	自然地理学	2年以上	
	地誌	2年以上	
基礎的理解に関する科目等	特別支援教育の理解B	3年以上	履修中
	教職論B	1年以上	単位修得済み
	教育学概論B	1年以上	
	教育心理学概論B	2年以上	いずれか1科目以上単位修得済み
	教育社会学概論B	2年以上	
	中等教育課程の意義と編成	2年以上	いずれか2科目以上単位修得済み
	社会科の指導法Ⅰ（地理歴史）	2年以上	
	地理歴史科指導法	2年以上	
	総合的な学習の時間の指導法B	2年以上	
	特別活動の指導法B	2年以上	
	教育方法論（ICT活用を含む）	2年以上	
	生徒指導・進路指導論B	3年以上	履修中
	教育実習（中・高）の事前指導	2年以上	単位修得済み
	教育実習（中・高）の事前事後指導	3年以上	履修中
六六条の六	日本国憲法	1年以上	単位修得済み
	スポーツA	1年以上	
	英語Ⅰ（コミュニケーションを含む）	1年以上	
	情報処理実習	1年以上	

高等学校（公民）

	開講科目名	履修年次	履修前提条件
教科に関する専門的事項	法学概論（国際法を含む）	2年以上	いずれか1科目以上単位修得済み
	政治学原論（国際政治を含む）Ⅰ	2年以上	
	政治学原論（国際政治を含む）Ⅱ	2年以上	
	社会学原論Ⅰ	2年以上	いずれか1科目以上単位修得済み
	社会学原論Ⅱ	2年以上	
	経済原論（国際経済を含む）Ⅰ	2年以上	
	経済原論（国際経済を含む）Ⅱ	2年以上	いずれか1科目以上単位修得済み
	倫理学概論	2年以上	
	宗教学概論	2年以上	
心理学概論	2年以上		
基礎的理解に関する科目等	特別支援教育の理解B	3年以上	履修中
	教職論B	1年以上	単位修得済み
	教育学概論B	1年以上	
	教育心理学概論B	2年以上	いずれか1科目以上単位修得済み
	教育社会学概論B	2年以上	
	中等教育課程の意義と編成	2年以上	いずれか2科目以上単位修得済み
	社会科の指導法Ⅱ（公民）	2年以上	
	公民科指導法	2年以上	
	総合的な学習の時間の指導法B	2年以上	
	特別活動の指導法B	2年以上	
	教育方法論（ICT活用を含む）	2年以上	履修中
	生徒指導・進路指導論B	3年以上	
	教育実習（中・高）の事前指導	2年以上	単位修得済み
教育実習（中・高）の事前事後指導	3年以上	履修中	
六六条の六	日本国憲法	1年以上	単位修得済み
	スポーツA	1年以上	
	英語Ⅰ（コミュニケーションを含む）	1年以上	
	情報処理実習	1年以上	

中学校（英語）、高等学校（英語）

	開講科目名	履修年次	履修前提条件
教科に関する専門的事項	英語学概論	1年以上	いずれか1科目以上単位修得済み
	教育英語学	2年以上	
	英語文学Ⅰ	1年以上	いずれか1科目以上単位修得済み
	英語文学Ⅱ	2年以上	
	Academic Reading	1年以上	いずれか1科目以上単位修得済み
	Academic Writing	2年以上	
	Speaking & Listening Skills	2年以上	
	異文化理解Ⅰ	1年以上	いずれか1科目以上単位修得済み
異文化理解Ⅱ	2年以上		
基礎的理解に関する科目等	特別支援教育の理解B	3年以上	履修中
	教職論B	1年以上	単位修得済み
	教育学概論B	1年以上	
	教育心理学概論B	2年以上	いずれか1科目以上単位修得済み
	教育社会学概論B	2年以上	
	中等教育課程の意義と編成	2年以上	いずれか3科目以上単位修得済み ※1は中学校（英語）のみ
	英語科教育法（概論）	1年以上	
	英語科教育法（指導法）	2年以上	
	英語科教育法（実践A）	2年以上	
	道徳の指導法B※1	2年以上	
	総合的な学習の時間の指導法B	2年以上	
	特別活動の指導法B	2年以上	
	教育方法論（ICT活用を含む）	2年以上	
	生徒指導・進路指導論B	3年以上	履修中
	教育実習（中・高）の事前指導	2年以上	単位修得済み
教育実習（中・高）の事前事後指導	3年以上	履修中	
六六条の六	日本国憲法	1年以上	単位修得済み
	スポーツA	1年以上	
	英語（コミュニケーションを含む）	1年以上	
	情報処理実習	1年以上	

(8) 特別支援学校教諭一種免許状

特別支援学校教諭とは、特別支援学校や一般の学校に併設された特別支援学級などにおいて、障害をもった児童・生徒に自立活動や小・中・高等学校に準ずる教育を行います。特に専門的な知識と忍耐力が求められるので、特別支援学校について事前に理解しておく必要があります。自主的に見学をしたり、ボランティア活動を通して児童・生徒と接する機会をつくり、できるだけ理解を深めておきましょう。

本学では、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者、病弱者の4領域の取得が可能になります。

教育職員免許法に基づいて必要単位を修得すると、特別支援学校教諭一種免許状が取得できます。ただし、特別支援学校教諭一種免許状だけを取得すれば特別支援学校教諭の資格が得られるというのではなく、基礎資格として幼・小・中・高いずれかの教員免許状を有することが必要です^{※1}。

なお、特別支援教育実習は4年次に2週間行います。小・中・高等学校等の教育実習の経験が生かされるように学習しておくことが必要です。

※1 本学では、幼稚園教諭と特別支援学校教諭を組合わせて取得することはできません。

小幼コースの学生で特別支援学校教諭一種免許状の取得を希望する場合は、「幼稚園+特別支援学校」の組合わせでの取得はできません。「小学校+幼稚園+特別支援学校」または「小学校+特別支援学校」の組合わせで取得をしてください。

基礎資格

- ・ 小学校教諭一種免許状
- ・ 中学校教諭一種免許状（社会）
- ・ 中学校教諭一種免許状（英語）
- ・ 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）
- ・ 高等学校教諭一種免許状（公民）
- ・ 高等学校教諭一種免許状（英語）



特別支援学校教諭一種免許状

特別支援学校教諭一種免許状に関する教育課程（初等教育専攻・中等教育専攻）

（別表27）

特別支援教育に関する科目		開講科目名	必修	選択	履修年次	履修方法	
第一欄	特別支援教育の基礎理論に関する科目	特別支援教育総論	2		2年以上	必修科目を含め、17科目34単位以上選択必修	
第二欄	特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	聴覚障害者の心理	2			3年以上
		聴覚障害者の生理・病理	2		3年以上		
		知的障害者の心理・生理・病理	2		3年以上		
		肢体不自由者の心理・生理・病理	2		3年以上		
		病弱者の心理・生理・病理	2		3年以上		
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	聴覚障害者教育論	4		3年以上		
		知的障害者教育論	2		3年以上		
		肢体不自由者教育論	2		2年以上		
第三欄	免許法に定めることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	重複障害者教育総論	2			3年以上
		発達障害者教育総論	2		3年以上		
		心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	自閉症者教育総論		2		3年以上
		言語障害者教育総論	2		3年以上		
		視覚障害者教育総論	2		2年以上		
第四欄	心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	特別支援教育実習の事前指導	1		3年以上		
		特別支援教育実習の事前事後指導	1		4年		
		特別支援教育実習	2		4年		

1) 特別支援教育実習へ向けての準備

特別支援教育実習は、4年次に2週間行います。小・中・高等学校の教育実習と同様、原則として出身都道府県の特別支援学校で実施することになっています。手続き等は特別支援教育実習のガイダンス等で行い、実習を希望する学校へ各自依頼します^{*1}。近年特別支援学校での実習生が増加していることもあり、必ずしも希望校に決定するとは限りません。また、特別支援学校では取得教科のみを担当するという実習はほとんどありません。小・中・高等部のいずれかに配属され、教科も何が割り当てられるか分からないことを十分に承知しておいてください。

なお、実習に関しては登録を完了しないと実習へ行くことはできませんので、ご注意ください。

ガイダンス等のお知らせは、UNIVERSAL PASSPORTにてお知らせします。見落とし等がないよう十分注意してください。

※1 大学から依頼する場合もあります。詳しくは、ガイダンス等で説明します。

特別支援教育実習までの流れ

時期		特別支援教育実習に関する手続き・流れ
2年生	10月	特別支援教育実習仮登録(取得希望調査)
	12月	特別支援教育実習第1回登録(実習希望校の選定等)
3年生	4月	特別支援教育実習第2回登録(実習希望校の確定・実習依頼等)
	5～9月	実習希望校訪問(該当者のみ)
	9月	特別支援教育実習の事前指導開始 教職課程履修費・教育実習登録金納入
	12～1月	実習関係書類(誓約書等)の作成・提出
4年生	4月	特別支援教育実習の事前事後指導開始 実習の手引き・実習日誌等の配付、教育実習費納入
	5～12月	教育実習(実習終了後：お礼状送付、レポート提出)
	12月	教員免許状一括申請に関する書類の作成・提出 ^{*1}
	1月	特別支援教育実習の事後指導

*1 教育職員免許状の申請に関わる手続きです。

※年度により日程等は変動することがあります。詳細はUNIVERSAL PASSPORTでお知らせします。

2) 特別支援教育実習の前提条件

以下に示す前提条件を実習年度の4月までに満たす必要があります。条件を満たさない場合、教育実習を行うことはできません。また、同一年度に複数の教育実習を履修することはできませんので注意してください。

開講科目名	履修年次	履修前提条件
特別支援教育総論	2年以上	実習前に単位修得済み
聴覚障害者の心理	3年以上	いずれか1科目以上単位修得済み
聴覚障害者の生理・病理	3年以上	
知的障害者の心理・生理・病理	3年以上	
肢体不自由者の心理・生理・病理	3年以上	
病弱者の心理・生理・病理	3年以上	
聴覚障害者教育論	3年以上	
知的障害者教育論	3年以上	
肢体不自由者教育論	2年以上	
病弱者教育論	2年以上	
重複障害者教育総論	3年以上	いずれか1科目以上単位修得済み
発達障害者教育総論	3年以上	
言語障害者教育総論	3年以上	
視覚障害者教育総論	2年以上	
特別支援教育実習の事前指導	3年以上	実習前に単位修得済み
特別支援教育実習の事前事後指導	4年	履修中